

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
骨折実技（下肢１）											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉本 知			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
部位別に具体的な外傷の整復・固定・後療法等や治療に至るまでの注意事項を学びます。											
到達目標											
柔道整復施術の観点から下肢の骨折に対して、部位別に具体的な外傷の発生機序、症状（一般外傷症状・固有症状）、病態や整復・固定・後療法などの施術の判断や方法に至るまでの注意事項を学ぶことができる。あわせて骨障害としての骨損傷を学ぶ上で必要な機能解剖学を理解する。骨折を理解するためには、骨折に関連した運動器の機能解剖学を理解することが、骨折による骨片の転位、整復、固定を考える上で重要ある。											
授業方法											
下肢を中心に骨傷害としての骨折を学習する上で必要な機能解剖と骨折の発生機序、症状、骨片転位、整復、固定、後療法、全体のプログラム、指導管理、予後、注意事項等を学ぶ。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
実技的要素が高く卒業後は患者の体を扱うため、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するとともに授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。											
教科書教材											
教科書（柔道整復理論 ー社団法人全国柔道整復学校協会 監修ー）に準拠する。											
回数	授業計画										
第 1 回	ガイダンス、骨盤骨骨折①										
第 2 回	骨盤骨骨折②										
第 3 回	骨盤骨骨折③										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
骨折実技（下肢1）	
第4回	大腿骨近位端部骨折①
第5回	大腿骨近位端部骨折②
第6回	大腿部近位端部骨折③
第7回	大腿骨骨幹部骨折①
第8回	大腿骨骨幹部骨折②
第9回	大腿骨遠位端部骨折①
第10回	大腿骨遠位端部骨折②
第11回	大腿骨遠位端部骨折③
第12回	膝蓋骨骨折①
第13回	膝蓋骨骨折②
第14回	半期の総括①（骨盤骨骨折～大腿骨近位端部骨折）
第15回	半期の総括②（大腿骨骨幹部骨折～膝蓋骨骨折）